

はじめに



東京湾臨海部の大規模な埋め立てが始まり千葉県が工業化への道を歩みだしてから半世紀が過ぎました。時期を同じくして、日本における環境問題の原点といわれている水俣病が確認されています。

私たちは大量生産、大量消費型経済の恩恵を受け物質的な豊かさを得てきましたが、このような人間活動の影響で何万年、何億年という長い歳月をかけてつくり上げられてきた地球環境の絶妙なバランスが崩れてきています。

特に、地球温暖化のスピードは、きわめて早く、すでに生物が順応できる限界を超えています。

この平成18年版千葉県環境白書では、「人類が直面している緊急課題の一つである、地球温暖化による生物多様性の低下」に焦点をあてました。

これからの地球温暖化対策、そして生物多様性の保全・再生をどのように進めていくべきか、行政と県民がそれぞれの立場にとらわれることなく、共に考え、計画をつくり、戦略をもって、環境問題に取り組むことが大切です。

環境を守っていくこと、それは、自分の回りに目を向け、自然や生き物と親しむことから始まります。美しい緑と海に囲まれたふるさと千葉を、そして子どもたちの未来を守るため、今こそ一人ひとりが一歩を踏み出しましょう。

平成19年3月

千葉県知事 堂本 暁子